

# 約6億2,000万円

## みんなで取り組むごみの減量化 ～ごみ処理の現状と今後の取り組み～



### ごみ出しルール、あなたは守っていますか？

ルール違反ごみは、まちの景観を損なうだけでなく、処理する費用も課題となっています。「私ひとりぐらい…」「一回ぐらい…」が積み重なって多額のごみ処理費用につながることを私たち一人ひとりが自覚するとともに、ごみ出しのルールを守り、集積所は清潔に気持ちよく利用しましょう。

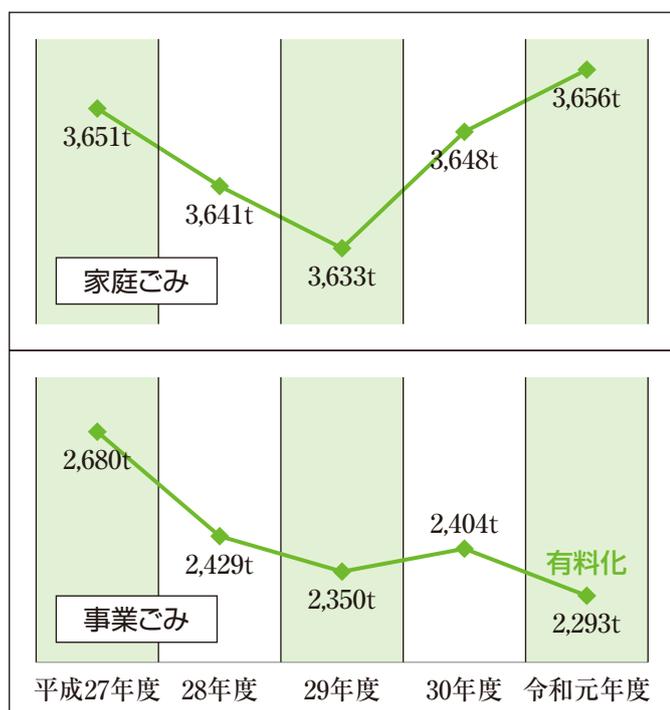
#### よくあるルール違反

- ・決められた時間（午前7時～8時）以外にごみが出される
- ・資源ごみが混入している
- ・収集日以外のごみ、他市町や事業所からのごみが出される



ルール違反ごみにはイエローカードを貼っていますが、引き取られるケースは稀です。

### 増え続ける家庭ごみ



家庭から出されたごみは、2年続けて増加しました。これは大型ごみの増加や、資源が分別されずごみとして出されたことが大きな原因です。令和元年度の排出量を1世帯あたりの排出量に換算すると、**各家庭から年間約400kg**ものごみが排出された計算になります。

また、家庭ごみの増加に伴ってごみ処理にかかる費用も増加し、**令和元年度のごみ処理費用は約6億2,000万円**となりました。国や県からの補助を受けられる事業と異なり、ごみ処理にかかる経費はすべて町自前の財源でまかなわねばならず、町の財政を大きく圧迫しています。

一方で、事業所から出されたごみは、有料化を実施したため減少しました。

「ごみ処理」は、生活環境の保全や公衆衛生の向上のため、不可欠なものです。町では、町内会のご協力を得ながら、町のルールにより「収集・処理・処分」を行っており、令和元年度にこれら一連のごみ処理に要した費用は約6億2,000万円でした。平成28年に岐阜市境川地内のごみ処理施設の稼働が停止したため、笠松町内で発生した燃えるごみは三重県と長野県の処理施設へ運搬し焼却処理を行っており、これらの費用だけでも年間約3億円かかっています。

生ごみをはじめとする燃えるごみを減量すれば、これらのごみ処理にかかる経費を削減することができます。また、現在、羽島市内で整備を進めている次期ごみ処理施設の建設費負担を抑えることができます。皆さん一人ひとりの心がけによるごみの減量化にご協力ください。

☎環境経済課 ☎388-1114

## あなたのひと手間で処理費を削減できます！

家庭の生ごみの約65%は水分です。ごみを減量するためには水切りが効果的であり、また、野菜くずなどはリサイクルし、たい肥を作ることができます。

笠松町の場合、生ごみの水分量を半分に減らすことができれば、

**5,400万円**  
の処理経費を削減できます。



生ごみ処理機などの購入にかかった費用を助成していますので、ぜひこの機会にご利用いただき、ごみの減量化にご協力をお願いします。助成制度の詳細は環境経済課へお問合せください。

☎環境経済課 ☎388-1114

### 助成内容

ホームコンポ	5,000円まで
電気式生ごみ処理装置	20,000円まで
非電気式生ごみ処理装置	10,000円まで
ダンボールコンポスト	1,000円まで

## ごみ減量化に向けた今後の取り組み

地球環境にやさしく、また、皆さんの税金をより有効に利用するため、ごみの減量化を推進していきます。現在、町では、ごみ出しルールの見直しを含め、次のような取り組みを検討しています。

ごみの種類	今後の取り組み(案)
燃えるごみ(家庭系)	有料指定袋の導入、生ごみ処理機などの普及啓発
燃える大型ごみ・金物ガレキ	リサイクル・リユースの推進、持込施設・戸別回収の実施(有料)
資源ごみ	拠点回収の実施、緑ごみ(草・剪定枝など)の回収

## 次期ごみ処理施設の整備

羽島市福寿町平方地区において、笠松町・岐阜市・羽島市・岐南町の2市2町により、ごみ処理を共同で行う施設建設事業を進めています。

140～178億円と見込まれる施設建設費の負担金は、2市2町のごみの搬入量(搬入割合)により決まるため、町の負担を抑えるためにもごみの減量化は大きな課題です。



次期ごみ処理施設(完成予想図)  
稼働開始は令和10年4月(予定)

「一人ひとりの心がけによる ごみの減量化」にご協力をお願いします。